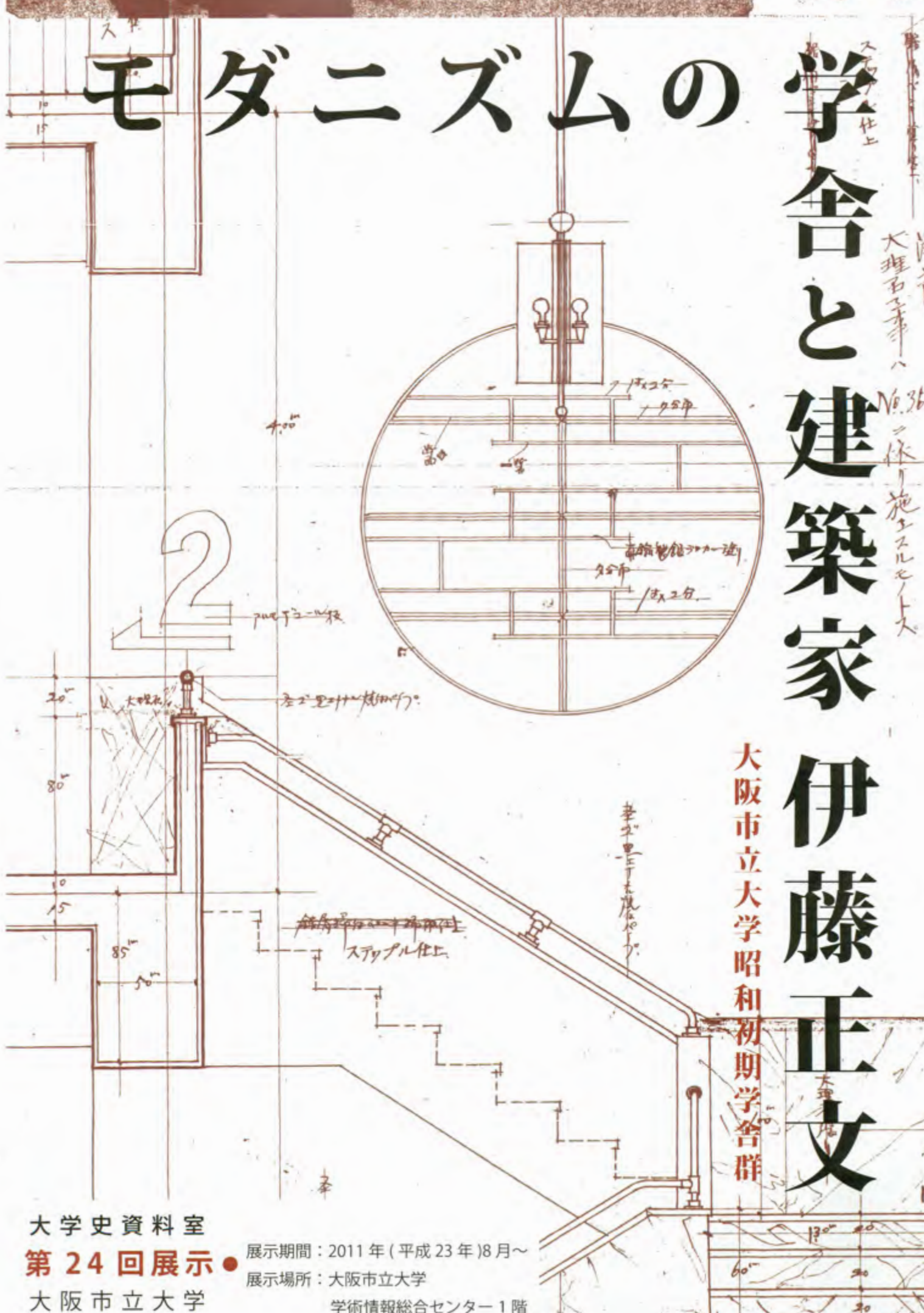


モダニズムの

学舎と建築家 伊藤正文

注意
大塚石三郎ハ
No.36
ニ依リ施エスルモットス



大学史資料室
第24回展示
大阪市立大学

展示期間: 2011年(平成23年)8月~
展示場所: 大阪市立大学
学術情報総合センター1階

モダニズムの学舎と建築家伊藤正文 —大阪市立大学昭和初期学舎群—

白いシンプルな箱とリズムよく並ぶ窓や柱型。昭和初期のモダニズム建築の特徴をよく示す学舎群が大阪市立大学のキャンパスにはあります。それぞれ白い外壁を持ち、シンプルな形態ながら、量感のある円形のベランダや規則的に並ぶ窓などが目を惹きます。これらの建物は昭和8（1933）年から9（1934）年にかけて、旧大阪商科大学の新しい学舎として建築されたもので、装飾を排除した合理的な形態からは、新しい時代の建築をつくろうという意気込みが感じられます。一方、立面構成は左右対称をしているものが多く、大学としての象徴を古典的に表す部分も共存しています。

現在のキャンパスで使われている建物は、1号館、2号館、第1体育館、旧図書館、旧第1書庫の5棟とポルティコ状の渡り廊下です。旧図書館は、この秋に学生サポートセンターとして生まれ変わる予定です。これらに加えて、3号館が建っていたのですが、現全学共通教育棟に建替えられ、こちらは現存していません。これらの校舎群は2001年に『関西モダニズム建築20選』（芦屋市立美術館博物館）のひとつとして収録され、1号館は、2002年に国の登録有形文化財に登録されています。

本展示は、昭和初期に建築されたモダニズムの学舎5棟とその設計を担当した建築家・伊藤正文に焦点を当てています。5棟の建物の設計は大阪市建築課が担当し、その主任技師が伊藤正文でした。後年、伊藤正文は大阪市立大学家政学部の初代教授を勤めるなど、大阪市立大学と縁の深い人物です。普段は使う立場から学舎として見ている建物ですが、本展示がその建築としての歴史とデザインに触れる機会になればうれしく思います。

展示会の開催にあたっては、多くの方々にお世話になりました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。

平成23（2011）年8月

大学史資料室



1号館

(大阪商科大学学部校舎)

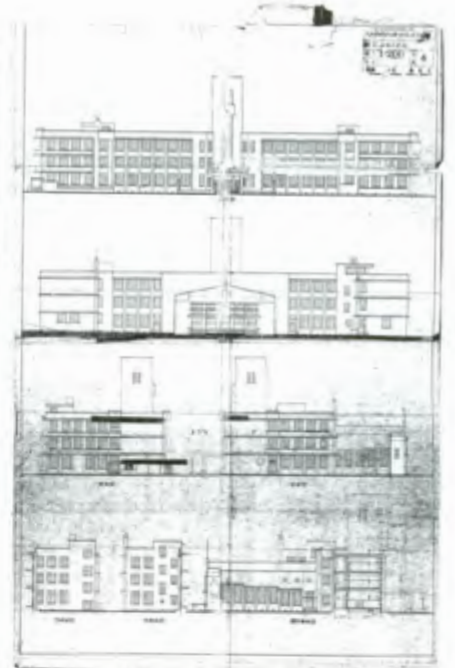
1号館には時計台があり、左右対称の立面をしている。左頁写真は現在の1号館外観で、窓サッシは変更されているが、内部の階段室は竣工当時の様子をよく伝えている。大階段詳細図には、トッブライト、丸窓、大理石などが詳細に描かれている。



1号館にある登録有形文化財のプレート

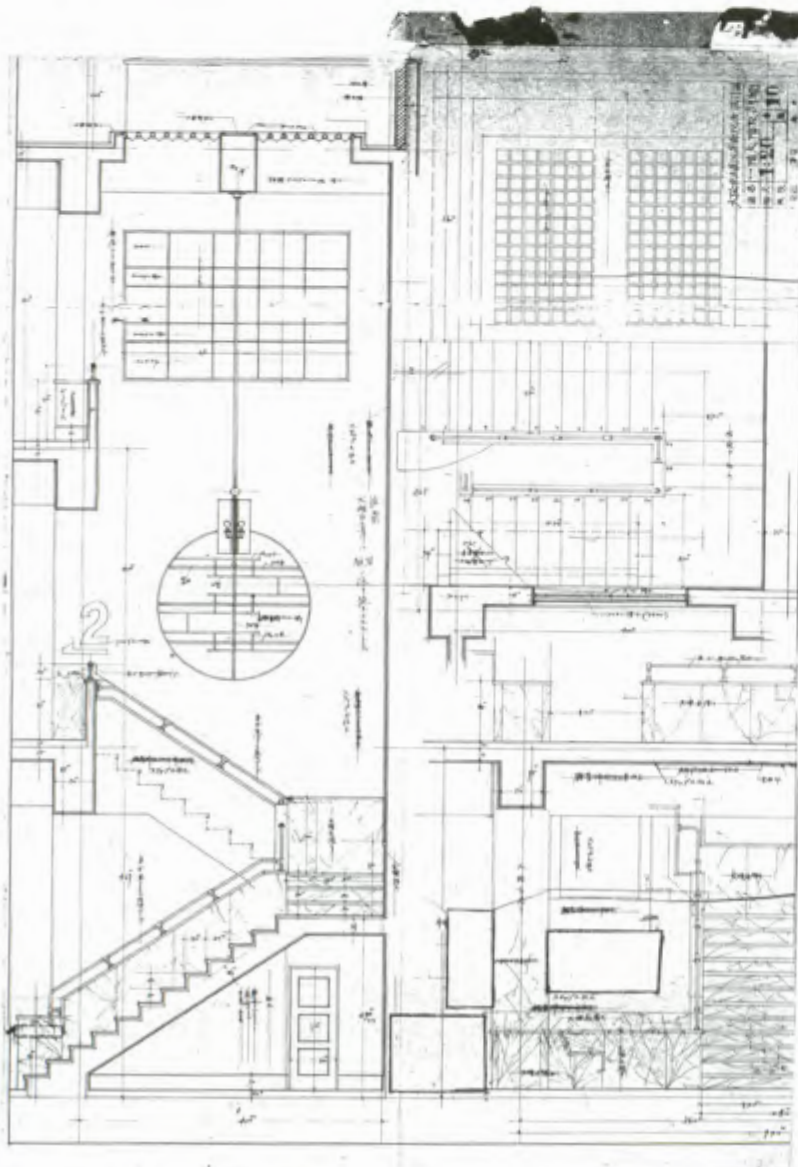


大阪商科大学学部校舎各階平面図



大阪商科大学学部校舎各面立面図

写真上：大階段の写真。トッブライトのある吹き抜けより光が拡散している。写真下：時計台につづく階段。

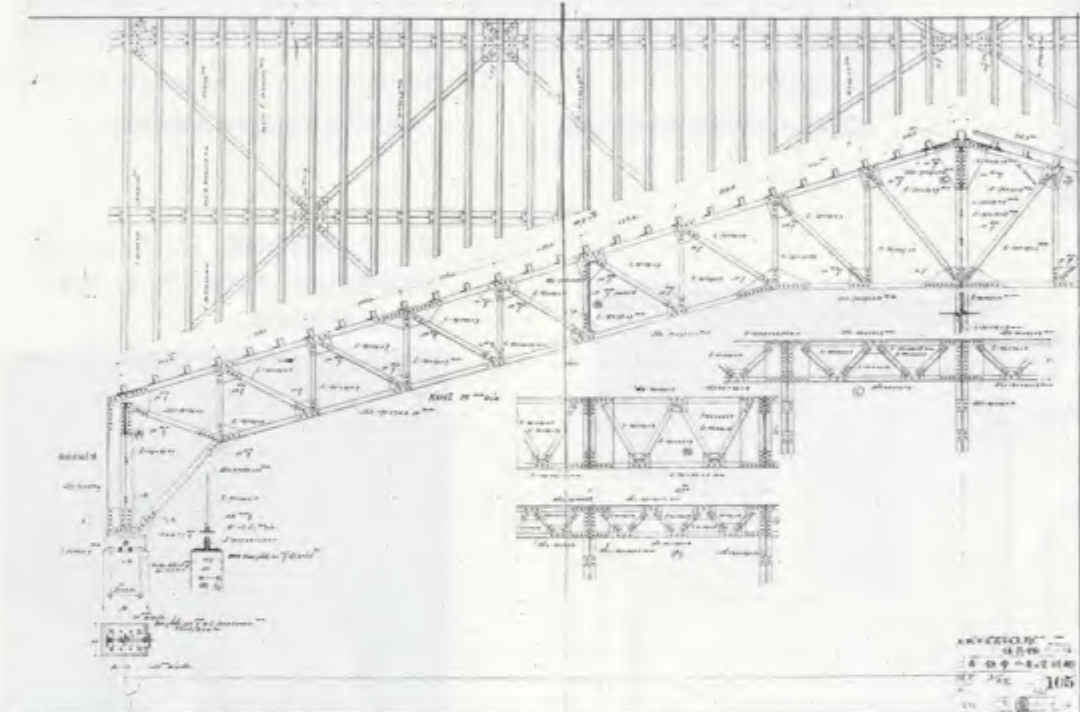


大阪商科大学学部校舎 大階段詳細

体育館 (大阪商科大学体育館)



写真左:左手に体育館、正面に2号館。2つの建物は柱廊でつながれている。写真中:体育館正面。写真右:体育館内部。鉄でトラスが組まれている。



大阪商科大学体育館 鉄骨小屋及梁詳細

昭和初期の作品でありながら現代の構造技術と比較しても遜色ない、高品質で堅固な梁として構築されている。屋根梁は、接合部をすべてリベット接合としたラチス梁である。梁に作用する応力はクレモナ図で丁寧に計算されている。(協力:安井建築設計事務所 辻英一)

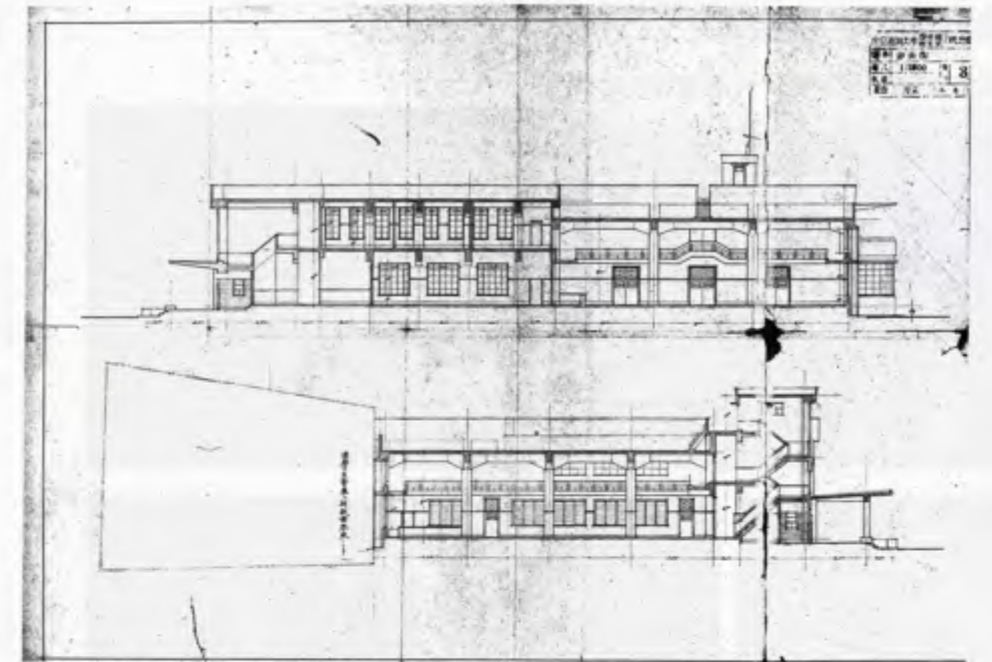
旧図書館

(大阪商科大学図書館・研究室断面図)

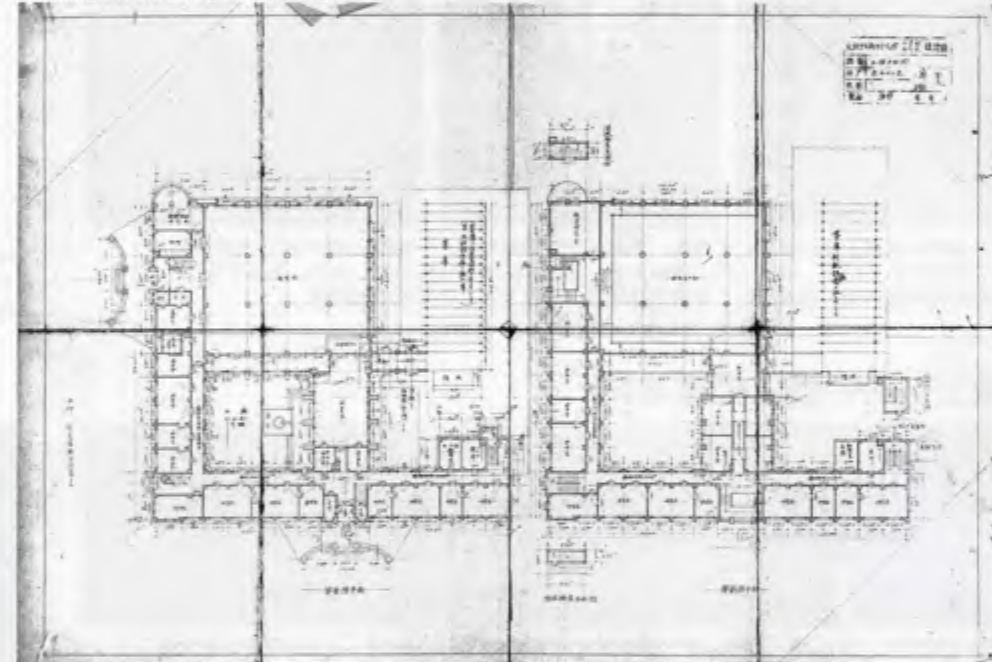
図書館入口のある北側立面(図書館正面)は左右対称を崩し、半円形の張り出しが見られる。



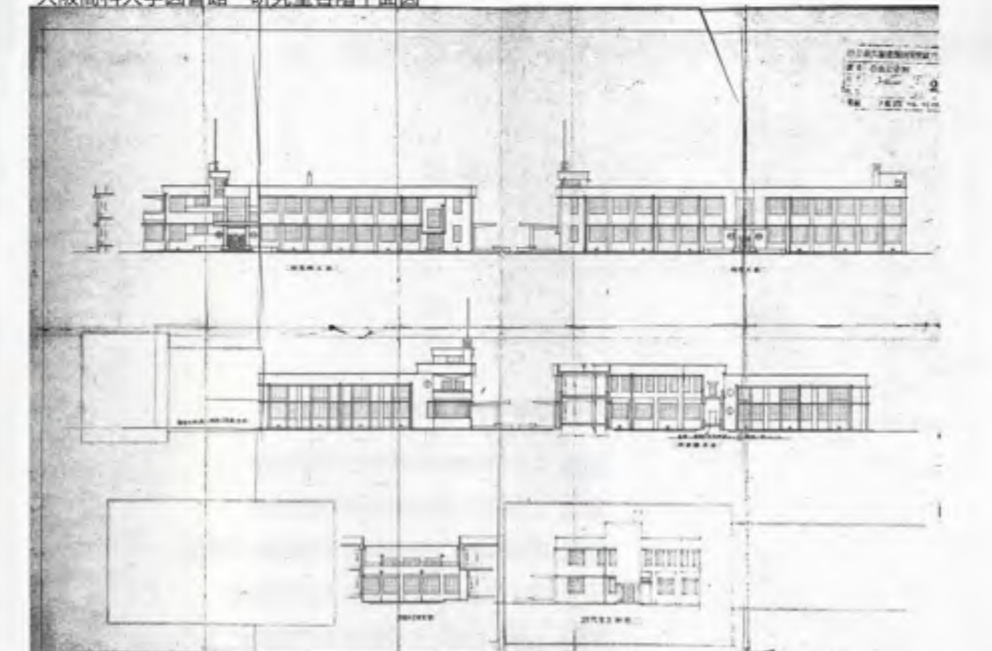
写真上:半円の張り出しのある旧新聞雑誌閲覧室。
写真下:旧職員閲覧室。ここにも丸窓がある。



大阪商科大学図書館・研究室断面図

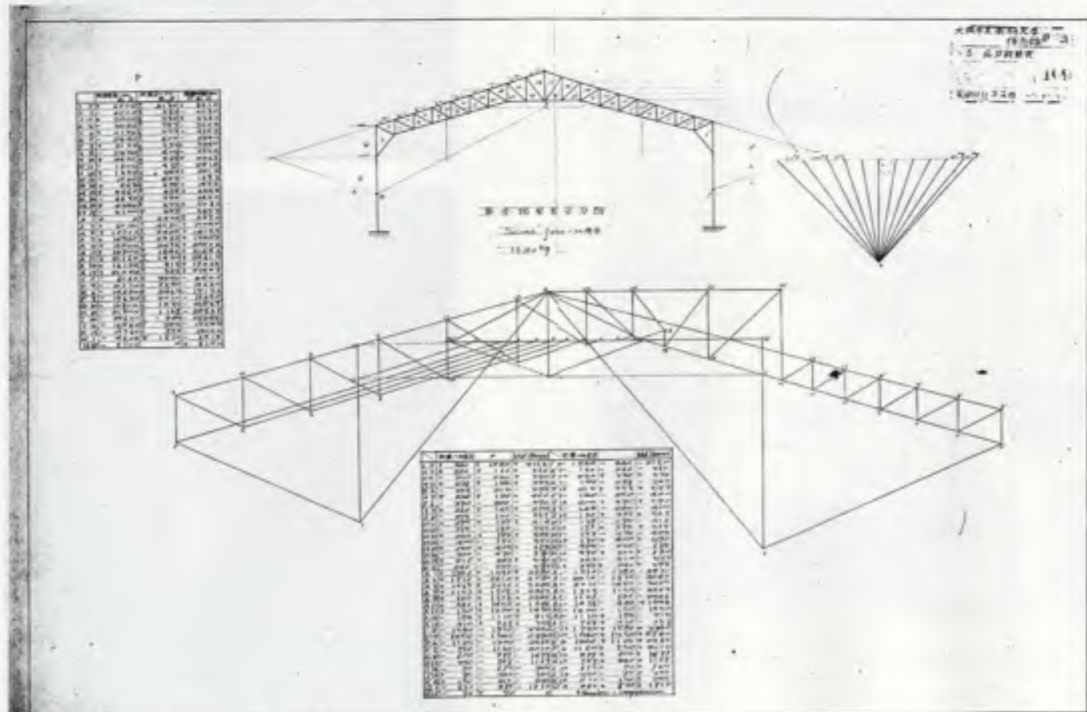


大阪商科大学図書館・研究室各階平面図



大阪商科大学図書館・研究室立面図

吹抜けの閲覧室を描いている。書庫部分は「別紙参照」として枠のみで詳細は記載されていない



大阪商科大学体育館(現第一体育館)応力計算表 演習場屋根示力図

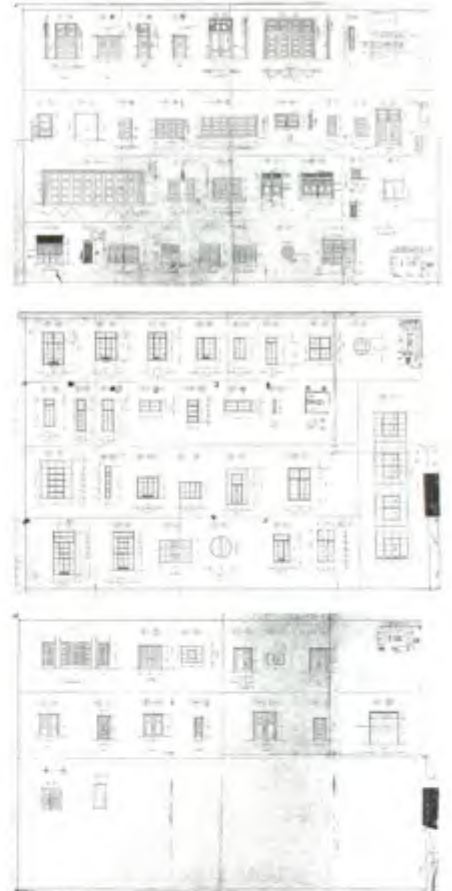
旧書庫・2号館

(大阪商科大学書庫・大阪商科大学予科)



旧図書館に付属する旧書庫と2号館。写真上左：書庫外観。小刻みに設けられた柱が外壁に表現されている。写真上右：書庫内部。柱と梁の間から光が差し込む。写真下左：書庫の階段室外壁。写真下中：書庫の階段室。写真下右：2号館の階段室。

建具表



1号館の建具表。ほとんど変更されているが、丸窓など残っているものもいくつかある。

竣工当時の雑誌掲載写真



雑誌『新建築』1933年4月号より大阪商科大学予科及び高商部校舎、体育館講堂背面全景

現在の大阪市立大学のキャンパス配置図



昭和初期モダニズム学舎群

- 1号館 (大阪商科大学学部校舎)
- 2号館 (大阪商科大学予科校舎)
- 旧図書館 (大阪商科大学図書館・研究室)
- 第1体育館 (大阪商科大学体育館)
- 旧第1書庫 (大阪商科大学書庫)
- 柱廊・渡り廊下

夙川の住宅



雑誌『インターナショナル建築』に掲載された伊藤正文の住宅作品「夙川の住宅」の1/50の模型(制作：大阪市立大学生活科学部/和田亮)。市立大学の学舎群が完成する数年前、1929年の作品。大きな窓や丸窓などに、市大学舎と共通するデザインが伺える。

竣工絵葉書



竣工記念絵葉書/大阪商科大学及び予科、高商部校舎全景 (大阪市立大学蔵)

関連年表



西暦	年号	年	伊藤正文に関する事項	その他の事項（●は大阪市立大学関連）
1896	明治29	0	誕生	
1901	明治34	5		●「市立大阪高等商業学校」設立
1913	大正2	17	早稲田大学高等予科入学	
1914	大正3	18	早稲田大学理工学部建築学科入学	第一次世界大戦
1917	大正6	21	早稲田大学理工学部建築学科卒業 (学業優秀賞受賞) 辰野片岡事務所入所	
1918	大正7	22		「大阪市中央公会堂岡田信一郎+辰野金吾・片岡安
1919	大正8	23		●「大阪市立高等商業学校」に改称
1923	大正12	27		関東大震災
1924	大正13	28	大阪市技師着任	
1927	昭和2	31	「日本インターナショナル建築会」設立	
1928	昭和3	32		●「大阪商科大学」設立
1929	昭和4	33	「夙川の住宅」 「大阪商科大学」地鎮祭	
1933	昭和8	37	「大阪商科大学高商部、予科、体育館」 「日本インターナショナル建築会」活動停止	「大阪ガスビル」安井武雄
1934	昭和9	38	「大阪商科大学学部、図書館・研究室」	
1936	昭和11	40	「大阪市立美術館」	
1938	昭和13	42	大阪市教育部建設課長着任 樟蔭女子専門学校講師	
1939	昭和14	43	大阪市依願退職 昭和13年度日本建築学会学術賞 (小学校校舎の衛生に関する研究) 工学博士学位授与(早稲田大学) 神戸工業専門学校講師	第二次世界大戦 「大阪中央郵便局」吉田鉄郎
1940	昭和15	44	樟蔭女子専門学校依願解職 早稲田大学講師 京都工業専門学校講師	
1945	昭和20	49		終戦 ●アメリカ軍により「大阪商科大学」学舎接收
1946	昭和21	50	神戸工業専門学校依願解職 早稲田大学依願解職	
1949	昭和24	53	京都工業専門学校依願解職 大阪市立大学家政学部教授	●「大阪市立大学」設立
1959	昭和34	63	大阪市立大学家政学部退職	
1960	昭和35	64	死去	

参考文献

- ・「大阪商科大学予科及び高商部校舎」『新建築』1933年4月号, 新建築社
- ・中嶋節子「大阪市立大学杉本キャンパスの近代建築について:近代モダニズム建築をめぐる一考察」『大阪市立大学生活科学部紀要48号』pp.45-57, 2000年
- ・「第17回展示学舎の記憶—建築で辿る大阪市立大学の歴史」大阪市立大学大学史資料室, 2002年
- ・笠原一人『「日本インターナショナル建築会」における伊藤正文の活動と建築理念について』『日本建築学会計画系論文集第566号』pp.153-159, 2003年
- ・芦屋市立美術博物館, 築地仁, 鈴木理策『関西のモダニズム建築20選』2001年, 淡交社
- ・京都国立近代美術館『復刻版インターナショナル建築全29冊』2008年, 国書刊行会

建築写真撮影: 市川靖史

年表作成: 大阪市立大学生活科学部 森田美紀、大谷実菜、椋本友恵、山瀬龍一

企画: 大阪市立大学大学史資料室 担当 運営委員 小池志保子(生活科学研究科准教授)

大阪市立大学 大学史資料室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 (大阪市立大学内 学術情報総合センター6階) TEL06-6605-3371

